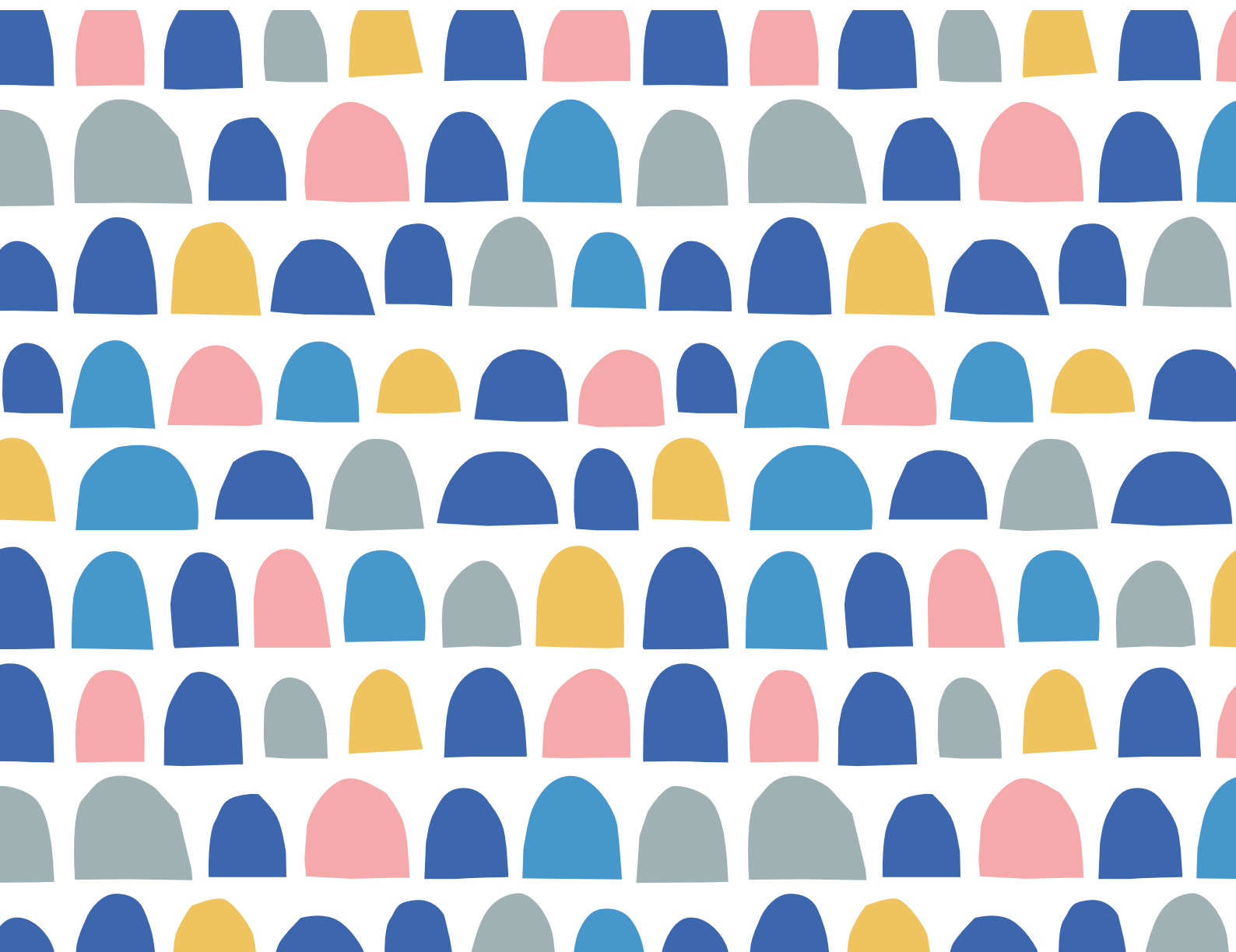


公立中高一貫校 がわかる

- ▶ 公立中高一貫校とは
- ▶ 私立中学校とのちがい
- ▶ 入学者選抜の方法
- ▶ 卒業生に聞く! 在校生インタビュー



東京都立 三鷹中等教育学校

「探究活動」・「国際理解教育」・「デジタル活用」を三本柱に、「思いやり・人間愛をもった社会的リーダーの育成」をめざす東京都立三鷹中等教育学校（以下、三鷹中等）。生徒たちは知識習得だけに偏らず、部活動や学校行事にもしっかり取り組んでいます。多様な教育活動を実践する同校の魅力に迫りました。



校長 小林 正人先生

探究・国際・ICTで広がる可能性

——育てたい人物像を教えてください。

思いやり・人間愛をもった社会的リーダーです。なかでも「人間性の育成」、知・徳・体の「徳」の部分が重要だと考えており、他者の立場に立って物事を考えられる生徒の育成をめざしています。そうした人間性の育成に必要な高い見識を深めるために、三鷹中等では教科教育を大切にしています。しかし、特定の教科に特化するのではなく、あらゆるものを幅広く学ぶことを重視しています。その教育の特徴となるのが「探究活動」「国際理解教育」「デジタル活用」の三本柱です。

「探究活動」は、自分たちで考えたテーマについて実験したり調査したりして、答えを見つけていく学習です。1・2年生は「ファーストステージ探究」、3・4年生は「セカンドステージ探究」、5・6年生は「サードステージ探究」というように、3つのステージに分けて学びを段階的にレベルアップしていきます。初めのうちはグループで定められた範囲内でテーマを決めますが、ステージが上がると個人で自由にテーマを決め、外部の企業などと連携しながら探究活動を行います。

「国際理解教育」は、実践的な英語力を身につけることに重点を置いたものです。生徒たちが英語をツールとして活用していけるよう、日本語は一切使わずネイティブの方と話をする「校内留学」や、必修となっている「オンライン英会話」などを行っています。そのほか外国の生徒とのオンライン国際交流、海外修学旅行、海外ボランティア研修などもあり、外国人との交流を図りながらグローバルな視点を育成しています。実際、文科省が目標としている「高校3年生で英検準2級取得率50%」に対し、三鷹中等では中学3年生の準2級取得率が75%となるな

ど、使える英語力が身につけていると実感しています。

こうした「探究活動」や「国際理解教育」をはじめ、さまざまな授業や活動を支えているのがICT、つまり「デジタル活用」です。ICTの徹底的な活用は本校の特色の1つです。平成28年より東京都から指定を受け、他校に先がけて全生徒、全教員に一人一台端末を配布しました。そのため、令和2年に新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休業になったときも、すぐにオンライン教育を実施できたのです。校内どこでもWi-Fiがつながり、通信速度も速く、自慢の通信環境です。とはいえ、あくまでもICTは教科教育や特別活動を下支えするものという位置づけで考えています。

——探究ではどのような点に気をつけていますか？

プロセスを重視することです。探究は最終的にポスターや論文などとしてまとめたり発表したりします。そのため、調べたことをまとめて終わり、となくなってしまいがちです。こちらとしては、調べるだけでなく検証したり考えたりするプロセスも大事にしたいのです。そこで三鷹中等では、自分の疑問をリサーチクエスチョン（論文のテーマ）にすることに力を置くようにしています。「メンター制度」を導入し、校長である私も含めた教員全員がメンターとなり、探究に関して生徒から相談を受けたり、論文作成の進行管理を行ったりしながら、生徒たちのリサーチクエスチョンの検討をサポートしています。生徒3人に対して教員1人がつき、夏休み前までにリサーチクエスチョンを決定します。それが決まれば、あとは夏休みを活用しながら論文を読んだり、大学の先生に質問したり、外部機関と連携したりして生徒自ら積極的に行動し、リサーチクエスチョンを解決していきます。

夕焼けをペットボトルで再現したり、ピクトグラムで古事記

を伝えたりするなど毎年ユニークで多様な研究があります。過去には、6年生が発表した「顔認証と自動認証プログラムの活用」という研究テーマもありました。高齢者の徘徊が引き起こす事故を防ぐためにどうすればよいかをテーマに、顔認証やドローンを活用した自動追従システムを開発していました。



令和三年度ファーストステージの論文集。

生徒自ら企画して、やりたいことを実現できる環境

——三鷹中等にはどのような生徒が多いのでしょうか？

あいさつをしっかりする元気で明るい生徒です。また友好的な生徒が多いですね。毎年クラス替えが行われるなかで6年間で共に過ごすため、生徒同士も自然と仲良くなります。それに加え、教員の丁寧な指導などもあり、教員と生徒の距離が近く、それが親しみやすい校風につながっているように感じます。

そんな生徒が学校を舞台にダンスを交えて三鷹中等を紹介しているYouTubeの動画が約25万回（2023年8月時点）も再生されたのです。新型コロナの影響で学校見学会ができなかったことがきっかけで動画を制作したのですが、生徒会が主導して、生徒が企画・演出・構成・振り付けなどすべてを考え、プロの方に撮影や編集をしていただきました。生徒の明るく元気な様子が伝わる動画になったと感じています。実際にこの動画を視聴し、「おもしろそうな学校だ」と思い学校説明会に来てくれる方も多いです。

——行事も生徒が主導となっているのですか？

合唱祭、鷹校祭（文化祭・体育祭）は、たいへん盛り上がりがあります。合唱祭はとてもレベルが高いです。1年生から6年生までが同じ会場で発表し、学年が上がれば上がるほど、選曲も合唱の質もレベルが上がります。1年生は5・6年生の合唱を聴いて度肝を抜かれていました。

文化祭も体育祭も、実行委員の生徒が主導で内容を決めています。体育祭は、1年生から6年生が、A組からD組までの4つの団に縦割りで分かれて競うため、ふだん接点がない異なる学年同士が団結するよい機会になっています。例えば、初めは1年生のみが綱引きをやっている、一定時間経過すると6年生が走ってきてその綱引きに参加する競技があるのですが、6年生が1年生を助けることで、学年間の仲が深まります。

勉強だけでなく、学校行事や部活動にも一所懸命に取り組む

——どのような進路指導を行っているのでしょうか？

キャリア教育として6年間を系統立てたさまざまなプログラムを用意しており、主に1年生で職場見学、2年生で職場体験、3年生で職業人の講話を行っています。なかでも、大学受験に向けては、早いうちから準備を進めることが重要だと考えており、4年生の段階でオープンキャンパスに行くよう指導しています。

5・6年生になると、より進路をイメージさせるイベントとして、在校生と卒業生の懇談会「在卒懇」を行います。教員の話ばかりだとイメージしづらい点もあると考え、生徒にとってより身近な存在である卒業生から、大学受験に関するさまざまな話を聞ける機会です。その大学や学部・学科を選んだ理由、受験勉強の方法のほか、教員からは聞けない本音なども聞けるということで生徒に好評です。

ほかにも、5年生は3学期に「第一志望宣言」を行います。これは第一志望をめざして、あきらめずに受験勉強を乗り切ろうという意識づけで、そこから受験勉強モードに切り替わります。そのためか推薦で受験する生徒は少なく、ほぼ100%の生徒が大学入学共通テストを受けます。6年生になってから文系・理系に分かれるので、国公立の大学を志望しやすい環境といえます。実際に国公立大を受験する生徒は多く、2023年度は現役生155名のうち、国公立大合格者は東大5名を含む51名でした。

——どのような小学生に入学してもらいたいですか？

勉強・行事・部活動など何に対しても一所懸命、そして主体的に活動できる生徒に来てもらいたいですね。三鷹中等は、文武両道で何ごとにも完全燃焼で挑みたいという生徒に向いていると思います。例えば、夢や希望、将来やりたいことをもち、それに向かって調べてみよう、調べてもわからないことがあれば誰かに聞いてみようという姿勢が大切です。「親に言われてやる」ということはもちろん大事ですが、自ら決めて行動する力を身につけておいてほしいです。

そのうえで、相手の立場に立って物事を考えることも重要です。思いやりをもつためには、感情にまかせて自分の考えや知識を説明するのではなく、相手に伝わるよう論理的に的確に説明する力も必要です。三鷹中等でそのような力を伸ばしながら、ぜひ一緒に充実した学校生活を送みましょう。



鉄道研究部が制作した高いクオリティの鉄道ジオラマ。

千葉県立 ひがしかつしか 東葛飾中学校

県内屈指の進学校である東葛飾高等学校を母体とする千葉県立東葛飾中学校（以下、東葛飾中）。独自の探究学習を軸に、自ら問いを立てて学ぶ姿勢を培い、「心豊かな次代のリーダー」を育成しています。生徒一人ひとりが、お互いを認め合いながら生き生きと成長するための環境づくりについて伺いました。



校長 稲川 一男先生

自ら問いを立て、探究する

——東葛飾中にはどのような生徒が多いのでしょうか。

とにかく好奇心が旺盛です。日々の生活の中でさまざまなことに興味・関心を持ち、それらについて調べ、突き詰めていく。探究学習においても、個々に立てるテーマがバリエーションに富んでいて、その発想に驚かされます。また、普段の授業の中で自分の意見を発表する機会が毎日のようにあるので、自然とプレゼンテーションが得意になっていきます。

東葛飾中では生徒たちが「自ら問いを立てる」ことを大切にしています。その環境をつくるのが我々教員の役割です。「教える」のではなく、「必要に応じてサジェスションを与える」。生徒が自分たちで考えて課題を解決していけるように導くという方針です。ですから、先生たちには「ティーチングよりも、ファシリテートする力をつけてください」とお願いしています。

——探究学習について教えてください。

全員が同じテーマを学ぶ「学校設定教科」と、テーマや進め方まで生徒自身が考える「総合的な学習の時間」があります。これらを合わせて1年生は週2時間、2・3年生は週3時間を設けています。発達段階に応じてすべての生徒が探究学習の基礎を学びます。具体的には1年生での地域研究から始まり、2年生で伝統文化学習として修学旅行へ行き、調査やインタビューを行います。さらには企業探究や海外研修プロジェクトを経て、3年生の3月に海外研修を行います。3年間を通してローカルからグローバルへと視点を広げ、課題を見つけて探究するという、東葛飾中の肝となる学びの時間です。1年生はグループですが、2・3年生は個人で探究テーマを設定します。成果は9月の「学習発表会」で発表します。校内外の数多く

の来場者の前でプレゼンテーションを行います。テーマは「戦争を起こさないためにはどうすればよいか」といった大きなものから「YouTube ショートでバズるには」といったユニークなものまでさまざま。私も発表を聞くのを楽しみにしています。



▲上野公園への遠足に向けて、1年生から3年生の混合メンバーで調べ学習をしています。

心豊かなリーダーを育成するために

——教育理念について教えてください。

「揺るぎない学力」と「自己規律力」を掲げています。「揺るぎない学力」とは難しい言葉ですが、「教科書に書いてあることだけでなく、その奥にある本質的なものを学び取る力」と考えていただければと思います。

「自己規律力」は自分で自分をコントロールする力です。母体である東葛飾高等学校の校是は「自主自律」。中学校はそれにつながる基礎を養うということで「自己規律力」という言葉を用いています。自分を客観視し、必要に応じて行動を修正する。そのようなメタ認知能力を高めてもらいたいと考えています。

——6年間を通してどのような力を身につけてほしいですか。

「心豊かな次代のリーダーを育成する」ことを中高のスクールポリシーとしています。そのために生徒の皆さんには3つのことをお願いしています。

1つ目は思いやりの心をもつこと。価値観や考え方、感じ方が自分と異なる人と数多く触れ合い、違いを認めてお互いに尊重する姿勢をもってほしいと考えています。それが今後の多様な社会に求められる寛容な態度につながるのだと思います。

2つ目は夢や目標をもち、それに向かって具体的に行動すること。変革を起こすために自分で目標を設定し、振り返りを行いながら責任ある行動をとる、いわゆる「エージェンシー」を培ってもらいたいと考えています。

3つ目は教育理念にもある自己規律力をもつことです。

これら3つを身につけ、心豊かな次代のリーダーへと成長してほしい。「心豊かな」という部分は「人間力のある」とも置き換えられます。ただ上に立ち下を引っ張るのではなく、メンバー一人ひとりをよく理解して進む方向を決めていく船長・キャプテンのようなイメージです。決して驕ることなく、温かい心で周囲を導く人になってほしいと心から願っています。

—— 高校に進学すると環境は変わりますか。

高校では、中学からの入学生（内進生）と高校からの入学生（高入生）をすべて混合してクラス編成をしており、各クラス40人中に10人の内進生がいることとなります。内進生と高入生は得意分野が異なるため、お互いをリスペクトしながら切磋琢磨^{せつさたくま}して、よい化学反応が起こっていると思います。これが併設型のよさではないでしょうか。

生徒の「やりたい！」が学校を動かす

—— カリキュラムの特徴について教えてください。

より深い学びにつなげるために、「インプット」⇒「シンク&シェア」⇒「アウトプット」という学びのサイクルを基本としています。知識を取り入れ、それを活かして判断・表現し、みんなで分かち合い、アウトプットする。このサイクルが、生涯にわたって活かせる学習習慣につながると考えています。

また、開校時から1人1台のタブレット端末を配付し、ギガスクール構想に先駆けてICT教育に取り組んできました。メディアリテラシーを育成し、ICTによる立体的な学びを進め、生徒の可能性を最大限に引き出す教育を心がけています。

—— 高校との連携はどのようになっていますか。

中学と高校が同じ敷地内にあるので、普段から接する機会が多いです。取り組みの例としては、中学生と高校生の合同授業などがあります。また、高校生が中学生のメンターとなることもあります。中学生の放課後の補習に高校生が自主的に来てくれて、質問を受けている様子もよく目にします。先輩だと気軽に質問できるようで、よい効果が得られていると思います。そうして育った中学生がやがて高校生になり、自分がしてもらったことを後輩にお返しするようになる。素敵な思いやりのサイクルが生まれていると思います。

—— 学校行事について教えてください。

スポーツ祭・合唱祭・文化祭を「3大祭」と呼んでいます。

すべて生徒が主体です。行事ごとに実行委員会が立ち上がり、プロジェクトメンバー100人以上が集まって企画・運営を行います。特に合唱祭は中学・高校合同で行うので、中学生も実行委員会やプロジェクトに入っています。

また、中学校の学校説明会では、生徒たちが学校紹介を行います。撮影した学校紹介動画を見せて説明したり、小学生が参加できるゲームを企画したりと、生徒自身が工夫をこらして作り上げるイベントとなっています。これらすべて教員からの指示は一切なく、生徒たちが自ら「やりたい」と参加してくれています。彼らのパワーと行動力はすごいと感じています。



◀◀ 学校説明会のポスターも在校生がアイデアを出し合って作成します。

読書からの学びを大切にしてほしい

—— どのような小学生に受検してほしいとお考えですか。

夢や目標をもって、それに向けて粘り強く努力を続けていける生徒を私たちは応援しています。もちろん、入学時点ではっきりとした夢や目標がなくてもかまいません。入学してからの6年間で見つけてもらえればうれしいと思っています。

個人的には、本をたくさん読んでほしいと思います。今はインターネットで調べれば多くの情報を得ることができますが、本を開き、活字から読み取る力を身につけてほしいと考えています。読書の経験は、入学後のさまざまな学びや活動の基礎になります。ぜひ幅広いジャンルの本を読んでほしいですね。

—— 最後に、先生から見た東葛飾中の魅力を教えてください。

私は開校初年度から2年間教頭として在籍し、8年目に校長として戻ってきました。いわば“よちよち歩き”で誕生した東葛飾中が今は立派に自分たちの足で立って歩いている、そんな成長した姿を目の当たりにして本当にうれしく思っています。開校当時と比べて感じるのは中高の一体感の強さです。高校生になった内進生が後輩たちを温かい目で見守り、導いていく。そんな雰囲気が学校をよい方向に進ませていると思います。

私たちが心がけているのは「スチューデント・ファースト」。生徒がいきいきと活躍できる場をつくるために私たち教員は存在しているのだと思っています。だから生徒はもちろん、先生方も笑顔の絶えない学校です。ぜひ直接東葛飾中に来て、そうした魅力を肌で感じていただけるとうれしいですね。

公立中高一貫校とは

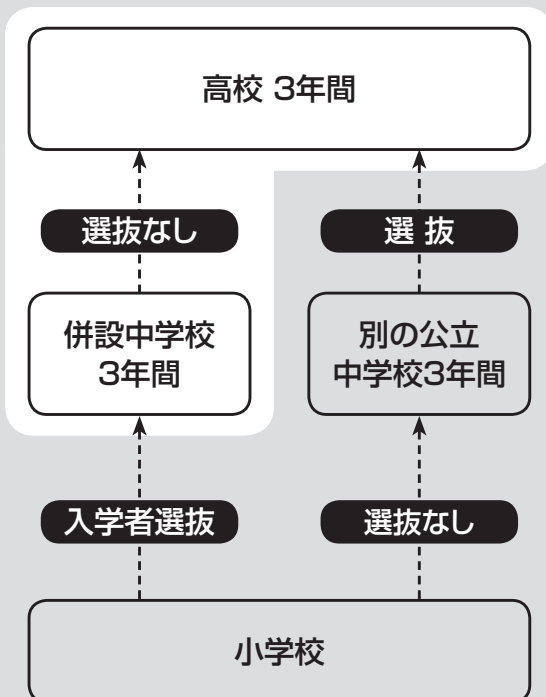
全国に広がる公立中高一貫校

中高一貫校とは、中学校・高校の6年間の中等教育を一貫して学べる学校のことです。中等教育の多様化が求められ、1999年から公立中高一貫校が制度化されました。年々その数を増やし、2023年時点では1都3県で23校が設置されています。高校受験がないため、効率のよいカリキュラムが生まれ、各学校の特徴が活かされた教育を受けることができます。そのため私立・国立中学校に続く新しい選択肢となっています。

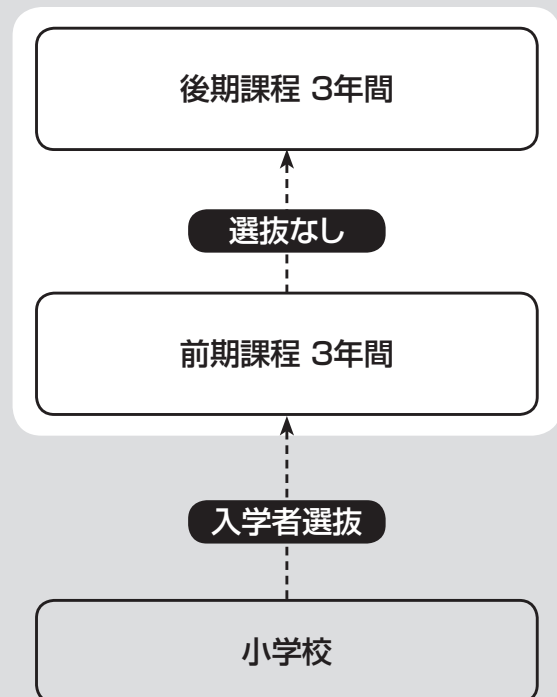
公立中高一貫校の種類

公立中高一貫校のタイプとしては大きく2つ、「併設型」と「中等教育学校」があります（※）。併設型は中学校と高校が併設されているタイプで、高校でも新たに生徒募集をします。中等教育学校は、中学校・高校を分けず6年間一貫した教育を提供し、高校では生徒募集を行いません。いずれにしろ高校（中等教育学校では「後期課程」）に進学する際、選抜はなく、6年間通い続けることが前提となります。

《併設型》



《中等教育学校》



※そのほかに、同じ地域にある中学校と高校が連携して教育を行う「連携型」というタイプの学校もあります。中学校の入学者選抜は行わず、高校に入学する際に選抜試験を実施します。一般に「公立中高一貫校」というと、多くはこの連携型を含みません。



私立中学校との違い

公立中高一貫校の入学者選抜

選抜方法

《主な例》

適性検査 + 作文 + 面接 + 報告書 ⇒ 合格者の決定

適性検査 … 私立中学校で行われる学力試験の代わりに課される検査。

作文 … 課題について、自分の体験や経験をふまえて書く形式が一般的。

面接 … 学校によって実施有無・形態が異なる。

報告書 … 小学校における評定や活動記録。

→詳しくは p.8 へ

入試日程

東京（一般枠）・神奈川 2/3

千葉

県立・市立ともに … 一次検査 12/9・二次検査 1/24

埼玉

県立伊奈学園 … 一次選考 1/13・二次選考 1/20

市立浦和 … 一次選抜 1/13・二次選抜 1/20

市立大宮国際 … 一次選抜 1/14・二次選抜 1/20

浦和と大宮国際は一次の併願が可能

川口市立 … 一次選考 1/13・二次選考 1/20

費用

《東京都立の例》

中学（前期課程）

授業料：無料 入学金：無料 ※校外研修費等は除く

高校（後期課程）

一般の公立高校と同様

授業料等：118,800円 入学科：5,650円

（東京都教育委員会ウェブサイトより）

入試倍率

どの学校も3倍～6倍の高倍率

公立中高一貫校は学校数自体が少ないため、倍率は高くなります。志願者数が大きく上昇していない学校でも、集まる受験生のレベルが高く、狭き門の受験であることに変わりはありません。私立中学受験と同様に、適性検査対策を十分に行う必要があります。

私立中学校の入試

《主な例》

学力試験 ⇒ 合格者の決定

4教科型が主。そのほか、特色のある入試として、英語入試、1科目入試、公立中高一貫校が実施している適性検査型の入試を導入している学校もあります。

2科 … 国語・算数

4科 … 国語・算数・理科・社会

都県ごとの解禁日のもとに、各学校で定めています。学校により帰国生を対象にする入試や、推薦入試を解禁日より早い時期に設定している場合があります。（同じ学校で複数回次入試や、午後入試を設定することも少なくありません。）

《解禁日》

埼玉 … 1/10

千葉 … 1/20

東京 … 2/1

神奈川 … 2/1

《東京都内の私立の例》

中学 … 授業料：492,209円 入学金：263,020円
（初年度納付金約 99万円）

高校 … 授業料：483,311円 入学金：253,113円
（初年度納付金約 96万円）

* 2023年度／東京都生活文化局調査
（東京都内私立中学・高校の平均額）

高倍率の入試もあるが、選択肢が豊富

学校数自体が多く選択肢が多いため、実質倍率は1倍～3倍の学校が中心です。学校での取り組みや大学進学実績で注目を集め、倍率が10倍を超える学校もあります。応募倍率と実質倍率の差が大きい学校もあり、学校の資料を読む際には注意が必要です。

近年の公立中高一貫校の動き

近年の動向

1都3県でおよそ15,000名が公立中高一貫校受検に挑戦しました。志願者数は昨年度に比べて微減しているものの、各校とも依然として高い受検倍率を保っています。

各都県の動向を見ると、東京都立中ではインターネットを活用した出願受付を実施することになりました。しかし、出願に必要な書類を特定記録郵便で郵送する期間は昨年同様にあるため、出願手続きの方法や受検票の交付方法、私立中のインターネット出願との違いを確認しておく必要があります。また、区立九段中等では男女別定員を撤廃することが決まりました。区外からの受検では女子の受検生が多く、近年は女子が高倍率の受検となっていました。[※]

神奈川県立中の適性検査では、令和5年度よりマークシート方式が導入されました。問題内容の大きな変更はありませんが、過去問対策を始める前に最新年度の適性検査の問題とマークシートを確認しておきましょう。

千葉では市立稲毛国際中等の中高一貫化が進んでおり、2027年度に6学年全てが中等教育学校となります。国際交流プログラムやグローバル企業訪問といった特色ある教育活動が注目を集めています。また、千葉中・東葛飾中では男女別定員が撤廃となります。

川口市立高附属中では、作文による検査の廃止が発表されました。また受検生の適性をより丁寧に捉えるため、集団面接の人数を3名に減らします。

コロナ禍では適性検査の実施が心配されていましたが、入念な感染症対策をしたうえで行われました。昨年度までは感染者や濃厚接触者などを対象にした「特例検査」が実施されていましたが、東京都ではインフルエンザなどの特別措置と同等の扱いとなります。また、神奈川県立中2校は、グループ活動による検査の中止が発表されています。市立川崎中では面接による検査は廃止されました。

※令和7年度より東京都立校は男女合同定員に変更

探究活動・総合的な学習の時間

さまざまな資料を収集、分析し、論理的に課題を解決する活動が多く見られます。前期課程（中学校）でも、自ら課題を設定し研究論文の制作をする学校もあります。先生のアドバイスを受けながら必要な情報を収集し、場合によっては実験手法まで自分の力で導く大学生さながらの論文を制作します。



▲探究発表会（さいたま市立大宮国際中等教育学校）

地域・社会との連携

生徒たち自身が社会とどのようにつながっているのかを強く意識させる授業・特別講座が多く展開されています。SDGs（持続可能な開発目標）を授業に取り入れる学校もあれば、行事・部活動で地域社会との連携を積極的に取り入れる学校もあります。大学や地元企業など外部と強い連携をもつ学校が多いことも公立中高一貫校の特長です。生徒たちの視野が広がる活動がたくさん用意されています。



公立中高一貫校の入学者選抜の方法

公立中高一貫校の入学者選抜では、適性検査や作文、面接などが課されますが、その他報告書も判定の対象となります。ここでは、それぞれの概要を説明します。

公立中高一貫校といえば

適性検査

算数や社会などの単独の教科知識だけでなく、複数の教科を横断して考える力や、生活の中で学んだことを活用して考える力、その考えを表現する力を問われます。

検査時間は45～50分がほとんどで、制限時間に対して処理しなければならないことが多いため、慣れやスピードが求められます。また、記述式の問題が多いのも特徴です。

作文 はほぼ必須

課題として与えられた文章を読み、その文章の内容を要約したり、自分の体験・経験を作文で表現したりする形式が一般的です。作文とは別に読解問題が出されるケースもあります。また、複数の文章から共通するテーマを読みとる問題など、形式や字数は学校によって異なりますので、志望校の傾向をつかんでおくことが大切です。

面接 対策も重要

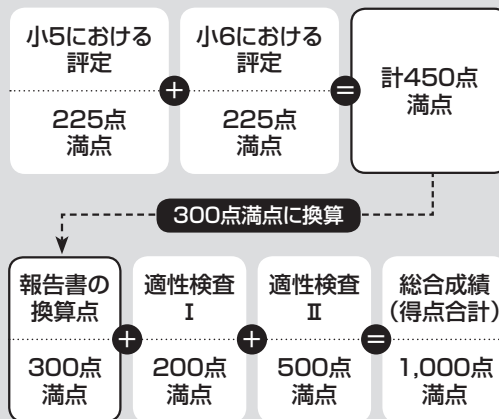
面接の形式は個人面接や集団面接のいずれかがほとんどで、志望校に合わせた対策が必要です。面接では、志望理由や小学校でがんばったことなどを聞かれるケースが多く見られます。

ウエイトの大きい 報告書

報告書とは、在籍する小学校で作成する資料で、評定を点数化したものです。主要4教科に加え、音楽や体育などの実技教科も対象です。対象となる学年や評定の点数化の方法・ウエイトは、各学校で異なりますが、右の例のように、総合成績に対し、大きな割合を占めます。

▶東京都立桜修館中等教育学校 2024年度入学者選抜における、報告書の点数と総合成績の算出方法。総合成績に対し、報告書の点数は3割を占めている。

(例)



学校別情報

- ・学校基本情報（アクセス、部活動など）
- ・大学合格実績
- ・適性検査の仕組み・スケジュール
- ・適性検査対策について



こちらの QR コードからご確認ください。
外部リンク

東京都立桜修館中等教育学校

公立中高一貫校がわかる 学校別情報

東京都	埼玉県
<ul style="list-style-type: none"> 公立 小石川中等教育学校 公立 白鷺実業中学校 公立 西国実業中学校 公立 豊原中等教育学校 公立 富士実業中学校 公立 大倉実業中学校 公立 新多摩中等教育学校 公立 立川国府中等教育学校 公立 武蔵実業中学校 公立 三蔵中等教育学校 公立 九段中等教育学校 	<ul style="list-style-type: none"> 公立 桜修館中等教育学校 公立 平塚中等教育学校 公立 國府実業中学校 公立 豊島実業中学校 公立 豊島実業中学校 公立 千歳中学校 公立 東葛城中学校 公立 堀七国府中学校 公立 伊豆学園中学校 公立 浦和中学校 公立 大宮国府中等教育学校 公立 川口市立実業中学校

公立小石川中等教育学校 【適性検査の仕組み】

検査科目	検査時間	検査内容
国語	45分	読解問題、作文
算数	45分	算数問題
社会	45分	社会問題
理科	45分	理科問題
音楽	45分	音楽問題
体育	45分	体育問題

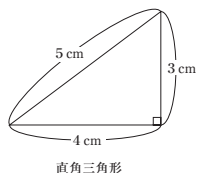
適性検査の問題例

前のページで説明した適性検査にはいくつかのパターンがあります。ここでは、典型的な2つの問題例を紹介します。

論理的に考える力を問う出題

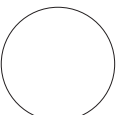
太郎さんは、図1のようなカードのデザインを考えました。花子さんと太郎さんは、モールを使って、図2のような図形を作り、それらを組み合わせて台紙にはり、図3のようなロケットのカードを作ることになりました。

図2



直角三角形

正三角形（1辺3cm）



円（直径3cm）

【問題1】1mのモールが4本と箱の中の図形があります。4本のモールで図2の直角三角形と正三角形と円を作り、箱の中の図形を組み合わせて図3のカードを作ります。モールの余りをつなげて図形を作ることとはできません。できるだけ多く図3のカードを作るとき、以下の問いに答えなさい。

- ただし、円周率は3.14とし、モールの太さは考えないこととします。
- 4本のモールの余りの長さの合計を求めなさい。
 - 箱の中の図形のほかに、直角三角形と正三角形と円はそれぞれ何個ずつ必要か求めなさい。そのとき、それぞれのモールからどの図形を何個ずつ切るか、文章で説明しなさい。

図1 カードのデザイン

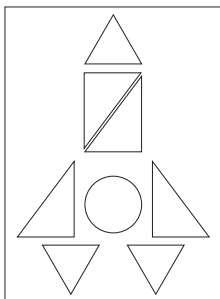


図3 カードのイメージ



複数の資料を読み取る力を問う出題

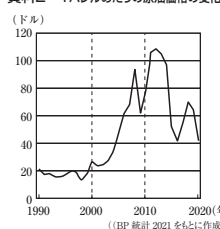
【花子さんとお父さんの会話②】

花子さん：お父さん、日本はサウジアラビアから石油を輸入しているのですよね。
お父さん：よく知っているね。でも、石油は限りある資源だから、いつまでも採れるわけではないんだ。この資料2と資料3を見てごらん。
花子さん：*2原油価格の変化を示したグラフと、サウジアラビアの主な輸出品と輸入品の割合を示したグラフですね。
お父さん：資料2を見て、原油価格はどのように変化しているかな。
花子さん：2010年の原油価格は、1990年の原油価格の約[A]倍に上がっています。しかし、2010年以降を見ると、2012年に1*3バレルあたり109ドルとなったあとに、2016年に1バレルあたり41ドルとなっています。2016年の原油価格は、2012年の[B]%になっています。原油価格は安定していないのですね。
お父さん：資料2と資料3から、サウジアラビアの経済がどんな問題をかかえているのか、考えてごらん。
花子さん：サウジアラビアの経済は[C]に大きくよっているから、原油価格の変化によって、国の収入が安定しないのではないのでしょうか。
お父さん：そのとおりだね。

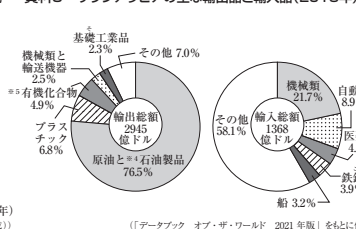
*2 原油……採取されたままの天然の石油。

*3 バレル……原油や石油などの量を表す単位。1バレルは約160L。

資料2 1バレルあたりの原油価格の変化



資料3 サウジアラビアの主な輸出品と輸入品(2018年)



*4 石油製品……燃料やプラスチックの原料など、原油を加工してできるもの。

*5 有機化合物……ここでは石油などを原料とする化学製品など。

問2 【花子さんとお父さんの会話②】の空らん[A]にあてはまる整数を答えなさい。次に、空らん[B]にあてはまる数字を、小数第1位を四捨五入して整数で答えなさい。また、空らん[C]にあてはまる内容として最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 原油と石油製品の輸出 イ 原油と石油製品の輸入
ウ 機械類の輸出 エ 機械類の輸入

ルールや条件を正しく理解し、問われている内容を正確に答える力が求められる問題。規則性や円周の求め方といった算数の学力も複合的に問われます。計算を正確に行う練習をしておくことも大切です。

(令和4年度東京都立共同作成問題 適性検査Ⅱ 大問1/一部抜粋)

会話文や複数の資料から、必要な情報を正確に読み取る力が重要です。割合に関しては計算ができるだけでなく、その意味を理解し自分の言葉として扱えるようにしておきましょう。

(令和4年度さいたま市立大宮国際中適性検査問題A 大問5 適性検査1-1/一部抜粋)

独自作成問題と共同作成問題

適性検査には、学校が独自に作成しているもの（独自作成問題）と、自治体内の各校が共同で作成しているもの（共同作成問題）とがあります。自治体によりどちらを採用しているか異なり、また学校によっては独自作成問題と共同作成問題が混在しているケースもあります。例えば東京都立の場合は右表のようになります。独自作成問題は、学校のカラーを出しやすいものなので、学校の教育方針として力を入れている内容や項目で出される傾向にあります。

令和6年度東京都立中等教育学校及び東京都立中学校 適性検査一覧

学校名	適性I	適性II	適性III	学校名	適性I	適性II	適性III
小石川	共同	大問2が独自	独自	大泉	共同	共同	独自
白鷗	共同	共同	独自	南多摩	独自	共同	—
両国	共同	共同	独自	立川国際	独自	共同	—
桜修館	独自	大問1が独自	—	武蔵	共同	大問2が独自	独自
富士	共同	共同	独自	三鷹	独自	大問1が独自	—

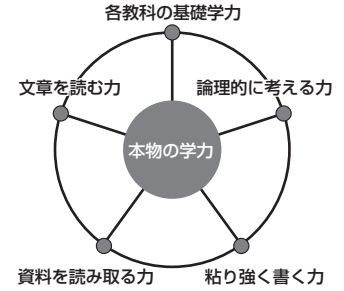
※適性検査はいずれも45分。 ※千代田区立九段は全て独自



公立中高一貫校 適性検査対策

細部まで考え抜かれた適性検査対策が、本物の学力を育てます。

栄光ゼミナールの適性検査対策では、まず小学校で学ぶ各教科の基礎となる力をもらさず身につけます。その上で、資料を正確に読み取ったり、自由に発想し自分の意見を論理的にまとめたり、解答にいたるまでのプロセスや自分の考えを記述したりする力を鍛えていきます。そうして身につけた本物の学力は、適性検査で求められる力であると同時に、大学受験や社会に出たときのかげがえのない財産となるはずです。栄光ゼミナールでは、授業の進め方やテキスト、家庭学習にいたるまで、本物の学力を育てる指導法を確立しています。



小6

- 理系** 想像力・思考力を鍛え、志望校合格へ
出題分析に基づいた専用のカリキュラムで学習。問題中にある規則や実験データなどを正確に理解し、適性検査本番に対応できる実力を身につけます。
- 文系** 得点につながる記述力を養成
文章読解や作文などの記述型問題対策、志望校の出題傾向に対応した指導を行います。適性検査の頻出単元を重点的に対策し、志望校合格をめざします。

◎公立中高一貫校受検コース (2月～7月) 理系・文系ともに 60分×3/週
(9月～) 理系・文系ともに 60分×3 + 30分/週

小5

- 理系** 論理的な思考を身につける
計算・単位換算などの基礎を確実なものとし、適性検査で必要な応用力を身につけます。初めて見る問題でも解答の筋道を考えられる能力を育てます。
- 文系** 正しく読む・書く力を身につける
文章を的確に読み取る力を身につけることからスタート。基礎学力を着実に身につけます。情報を正確に整理し、問題に対して自分の考えを文章で表現できる力を育てます。

◎公立中高一貫校受検コース (東京+千葉) 理系・文系ともに 70分×2/週
(神奈川+埼玉) 理系・文系ともに 60分×2/週

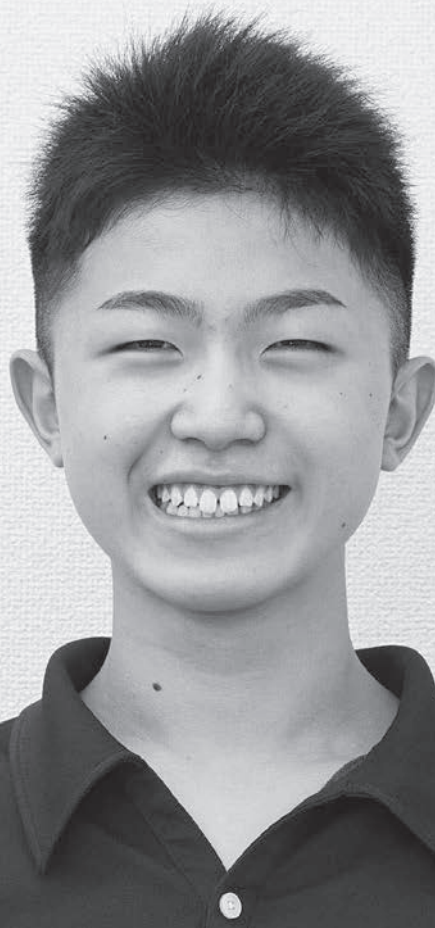
年間スケジュール

	小4	小5	小6
通常授業	← 中学入試準備コース →		
講習	春期 夏期 冬期	春期 夏期 冬期	春期 夏期 冬期
適性検査対策ゼミ	長期休みに、通常授業で学んだ内容の総復習・定着を図る		後期 学校別対策ゼミ
	記述問題や思考力を必要とする問題を中心に演習を行う。小6では学校別対策を行っていく。		前期 栄光の森
		栄光の森 後期	後期 学校別対策ゼミ
		私立中学受験・公立中高一貫校受検の選択	

01

かみ や こうすけ
神谷康介さん

さいたま市立大宮国際中等教育学校2年



何をいつどのように勉強するかは自分で決める その姿勢が自己管理能力を高める

2019年に開校し、今年で5年目となる、さいたま市立大宮国際中等教育学校（以下、大宮国際中等）。IB（国際バカロレア）に準拠した教育のもと、英語を活用する力や思考力、自己管理能力などを伸ばす取り組みが豊富にあります。そんな大宮国際中等で充実した学校生活を送る神谷康介さんに、授業や部活動など学校生活の様子についてお話を伺いました。



英語の授業では文法を学ばない とにかく「使う」ことを重視

——大宮国際中等を受検したきっかけは何ですか？

小学校高学年になったとき、親から公立中高一貫校の受検をすすめられたのがきっかけです。埼玉県にある4つの公立中高一貫

校のうち、大宮国際中等には、めざす学習者像として「よりよい世界を築くことに貢献する人」というものがあります。私は薬学に興味があり、将来は薬を作ることで世界に貢献したいと思っていたので、この学習者像が、自分の志すものと一致すると感じ、受検を決めました。

——康介さんから見て、大宮国際中等はどのような学校ですか？

正直、入学する前はくわしいことは知らなかったのですが、実際に入学すると「不思議なことをする学校だ」と思いました。校長先生も「大宮国際中等は座学はやらない。座学では学べないような新しいことをする！」とおっしゃっていましたし、まさにそうだと思います。

大宮国際中等では、ひとつの授業が100分で、これを「1ターム」というのですが、それ

が1日3～4タームあるんです。小学校ではひとつの授業が45分だったので、入学してすぐのころはすごく長く感じました。そのほかにも独自の授業があるなど、ほかの学校と違う点がたくさんあると思います。

——独自の授業としては、例えばどのようなものがありますか？

大宮国際中等は英語に力を入れているのですが、英語の授業として、LA（Learning Acquisition）やEI（English Inquiry）などがあります。LAでは、英語を書いたり話したり聞いたり、とにかく「使う」ことに重点を置いて授業が進められます。授業中、先生は英語しか話さないで、入学したころはついていくのが大変でした。私のクラスは日本人の先生ですが、ほかのクラスはネイティブの先生です。学校にはネイティブの先生は20人くらいいると思います。

— EIはどのようなことをするのでしょうか？

“I”にあたる“Inquiry”は、そのまま訳せば「探究」という意味なのですが、EIは数学や理科、場合によっては探究的な活動を、英語で学ぶ授業です。もちろん授業はすべて英語で進められます。

例えば、学校行事の様子を紹介する記事をパワーポイントで作って、そこに英語で説明のナレーションをつけて動画にする授業もありました。ナレーションはもちろん自分で原稿を作って読み上げたものです。その音声を録音して、最終的には動画と一緒に提出しました。

EIの授業は、学ぶ内容によっては、例えば理科の“Oxygen（酸素）”といった専門用語が出てくるので、日本語でも大変なのに英語で勉強するのはなおさら大変でした。

— 授業をしっかり理解するためにどのような工夫をしていますか？

LAやEIの授業でよく出てくる単語については、朝、スクールバスに乗っている間の15分を利用して、辞書を読んでいます。あと、木曜日の放課後に“English Gym”という自由参加の英語の補習があるので、それにも参加しています。“English Gym”では、LAやEIの授業でわからなかったことを、日本語で聞くことができます。今でも授業でわからないことがあるときは参加するようにしていますが、特に入学してすぐのころは頻繁に参加していました。

英語を書く・話す・聞くことを中心とした授業ではありますが、文法については学ぶ機会が一切ないというわけではなく、15分間の“All English”という時間があって、そこで簡単なものを学習します。大宮国際中等



は「自分で考えて計画を立てて行動しよう」という方針なので、生徒は必要なものは自分なりに計画を立てて勉強していると思います。私は今も栄光ゼミナールに通いながら、文法の学習をしています。

— “English Gym”のほかにも補習はありますか？

数学の“Math Gym”があります。英語と数学が基本なのですが、難しい内容の場合は、理科の補習も行われていました。

定期テストはなし！ 単元ごとのテストや課題で 評価が決まる

— どのような課題が出ますか？

レポートが多いです。ほかに作文や制作物などもあります。大宮国際中等は、定期テストがなく、代わりに単元ごとのテストや課題で評価されます。その課題の多くがレポートで、数学でも出されることがあります。例えば、因数分解についてのレポートで、「共通因数でくく」という考えを日常生活と結び付けたものがありました。「ハンバーガーとシャープペンシルで、いずれも売れていない商品がある。その売れない要因は3つあり、3つのうち1つは同じ要因。ではどのような要因が自分で考えて書いてみよう」という課題でした。答えは決まったものはないので、生徒がおのおの考えて、自分なりの答えを出します。解いていて、すごくおもしろい問題だと思いました。

— どれくらいの頻度で単元テストや課題があるのですか？

単元ごとなので教科にもよりますが、およそ1～2か月に1回のペースです。もちろんどの教科にも課されます。タイミングによっては、単元テストと課題だらけの週もあって、その週はすごく大変になります。どの学年も2月はテストと課題が重なる月のようで、1週間に5教科のレポートを出さないといけなということもありました。

部活動は1年間に 何回も変更できるシステム

— 部活動は何をしていますか？

パソコン部に入っています。活動日は週2日です。パソコン部には、ScratchやPythonなどのプログラミング言語を使ってプログラミングをする人もいれば、動画を作る人もいて、どのようなことにも挑戦できます。大宮国際中等の部活動は1年間で4～7月、8

将来の目標

「薬学を通して、世界がまだ目を向けていないところに目を向けたいです！」



～10月、11～3月の3つのシーズンに分けて活動しているのですが、パソコン部では1シーズンごとに成果物を発表しています。私は今、HTMLを使って、二槽式洗濯機のような昭和レトロの家電・家具を紹介するサイトを作っています。あと1か月したら完成する予定です。

— シーズンが3つに分かれているのは特徴的ですね。

大宮国際中等はシーズンごとに部活動を変えることができます。私はずっとパソコン部で活動していますが、部活動に入っていなかった友だちが、あるシーズンから急にサッカー部に入った、なんてこともありました。このシステムからもわかるように、部活動は全体的にあまり厳しくはなく、自由な雰囲気があると思います。

— 校則なども比較的自由なのでしょうか？

そうだと思います。実は大宮国際中等の校則は生徒が作るんですよ。例えば、改正したい校則があれば、まずは生徒会がその細かい内容を決めて、学校全体にアンケートをとって意見を聞いて、校則を見直す、という感じですよ。元々の校則も、基礎は先生方が作ったようですが、最終的には一期生の先輩方が作ったようです。

— これから大宮国際中等や公立中高一貫校をめざす受験生にメッセージをお願いします。

大宮国際中等は自己管理スキルが身につく学校だと思います。自分が学びたいと思ったことは、自分で勉強したり、自由参加の補習に参加したり、自分でいつ何をどうするかを決める機会が多くあります。それは中学生、高校生の時期だけではなく、社会に出てからも必要なスキルだと思うので、早いうちから学校で実践することができるのはメリットです。

あとは、やっぱり学校でいちばん楽しいのは友だちと話しているときです。入学したら、ぜひ友だちと一緒に学校生活を楽しんでください！

02

さこうひより
酒匂日和さん

神奈川県立相模原中等教育学校 2年



発言しやすい授業を通して 表現力が自然と身についていく

2009年に神奈川県初の公立中高一貫校として開校した神奈川県立相模原中等教育学校（以下、相模原中等）。「科学・論理的思考力」「表現コミュニケーション力」「社会生活実践力」の3つの力を伸ばすことを目的としています。2022年に入学した酒匂日和さんに、受験をめざしたきっかけや、入学後の学校生活などについて話を伺いました。



きっかけは、文化祭で話した先輩のコミュニケーション力の高さ

— 相模原中等を受検しようと思ったきっかけは何ですか？

コロナ禍に入る前、小4のときに行った文化祭です。母から相模原中等のことを教えてもらい、一度学校を見たくて文化祭に行きま

した。とにかく楽しかったのを覚えています。受付にいた先輩と少し話をしたのですが、質問に対してすぐに答えを返してくれるだけでなく、話もわかりやすかったので、「コミュニケーション力が高い！」と、驚きました。先輩のかけこよさを目の当たりにして、「相模原中等に行きたい」と思うようになりました。

— 受検勉強はどのような工夫をしましたか？

小4から受検勉強を始めていたのですが、本腰を入れたのは小6の夏からです。それまで「静かで入りづらい」と敬遠していましたが、自立学習室i-cotを試しに使ってみたらとても集中できたので、授業がない日も活用するようになりました。いちばん長いときで、1日に4～5時間くらいはi-cotで勉強していたと思います。今もよく使っています。

— 相模原中等に入学してみて、いかがでしたか？

入学前は「ずっと勉強している」というイメージがあったのですが、入学したら違っていました。勉強ばかりではなく、想像していたよりも生徒は自由に過ごしています。行事をがんばったり、部活動をがんばったりと、勉強以外の学校生活も楽しんでいます。私は今、部活動がいちばん楽しいです。

— 部活動は何をしていますか？

クラシックギター部に入っています。もともとピアノを習っていて音楽に興味があったので、音楽系の部活動に入りたいと思っていました。音楽系は、ほかにもコーラス部や吹奏楽部があったのですが、相模原中等のクラシックギター部は後期課程の先輩と一緒に活動できることや、全国でも強豪であることから、入部を決めました。日本一を

めざせる環境がいいなと思ったんです。

活動日は土日を含めて週4日ほどです。私は中学校に入って初めてクラシックギターにふれたので、先輩方が弾き方を教えてくださいました。部活動のない日も、できる限り自主練習をしています。基本的にはギターは学校に保管しておくのですが、長い休みの期間は家に持ち帰って練習しています。本番の全国大会では先輩方の指揮のもと、私もみんなと一緒に弾き、最優秀賞を取ることができました。これは昨年に続いて2年連続なんです！

体育祭では1～6年生が団結してオリジナルのダンスを踊る

——学校行事ではどの行事が好きですか？

相模原中等には、芸術祭（合唱部門と展示部門）と蒼碧祭（体育部門と文化部門）があります。体育部門と文化部門がいわゆる体育祭と文化祭で、この2つはとても盛り上がりがあります。

私はどちらかといえば文化祭のほうが好きなのですが、6月の体育祭もとても楽しかったです。体育祭では、1～6年生全学年が、縦割りで赤団・黄団・緑団・青団の4つのチームに分かれて競い合います。6年生の先輩に限って、体育祭の日だけ髪を染めることができます。私は黄団だったので、同じ団の先輩方の髪が黄色でキラキラしてきれいでした。クラシックギター部の6年生の先輩もきれいに染めていたので、一緒に写真も撮ってもらいました。

体育祭の種目にはダンスもあり、団ごとにオリジナルのものを踊ります。先輩方が



振り付けを考え、後輩である私たちに、昼休みや放課後を使って教えてくださいました。振り付けはみんなで連鎖していくような動きがあったり、前期生と後期生で動きを変えたりと、いろいろ工夫がされていてすごかったです。

ダンス以外にも私は玉入れとリレーに参加したのですが、リレーを行っていた午後に雨が降り出してしまいました。それでもみんなで盛り上がっていましたし、雨による特別感もあり楽しかったです。

——文化祭はどうでしたか？

去年はSDGsをテーマにした劇を行いました。ただコロナ禍だったので、一般公開も食品販売もできませんでした。でも今年の秋に開催する文化祭は、食品販売も一般公開も行う予定です。今年は私の学年は、歴史で学んだことを劇にします。私が小4のときに見に行った文化祭と同じような雰囲気になると思うと、今からとても楽しみです。

英語の暗唱から研究成果発表など発表する機会がたくさんある！

——おもしろいと思った授業はありますか？

私自身はまだ取り組んではいないのですが、「かながわ次世代教養」があります。これは、自分でテーマを決めて、それについて調査したり実験したりしていく探究活動です。7月に後期生が取り組んできた研究成果発表が行われたのですが、その内容がとても印象に残りました。たとえば「キーボードの配列を、今よりもっといいものにする研究」や「昆虫食を普及させるにはどうすればいいか」などがありました。企業の商品企画として提出されたものもあるようです。

——「かながわ次世代教養」以外にも研究したり発表したりする活動はありますか？

研究とまではいかないのですが、グループで調べたいことを自分たちで決めて、それについて発表するということがありました。私のグループは色の効果や性質など、「色」について調べて発表しました。

発表する機会は通常の授業でもたくさんあります。例えば英語では、英文を覚えて暗唱したり、国語では、自分で作った短歌やそれを作ったときに用いた技法を紹介したりしています。そのような機会がたくさんあり、学年が上がるごとに内容がレベルアップしていきます。小学生のときも発表する機会は多くありましたが、中学校では小学生のときと違い、授業の一環として発表するので緊張します。

今後の目標



「今は部活動がいちばん楽しいですが、部活動も勉強も、バランスよくがんばっていきたいです。」

——相模原中等の授業で特徴的なものは、ほかにもありますか？

「自由発言」というのがあります。一般的な授業では、先生に指名されて生徒が問いに答える場面がよくあると思うのですが、相模原中等ではそういうことはあまりなく、先生の質問に対し、生徒が自由に発言できます。授業内で議論しやすい、発表しやすい雰囲気があります。自分の考えを表現する力が身につけてきたように感じます。

——宿題や課題はどのようなものが出ますか？

課題には、短期的に取り組む宿題と、長期課題があります。短期的な宿題は、例えば英語では、毎回単語のプリント、暗唱のプリント、復習用のプリントが出され、次の授業にそれらを提出します。長期課題は、主に数学で課されるのですが、1か月や2か月といった期間で、問題集の解くべき範囲を指定されます。ペースは生徒に任されていますが、小学校では長期課題がなかったので、入学してすぐのころは、ペースをつかむのが難しかったです。でもこの課題を解いておくと、授業の予習復習にもなります。

——得意教科は何ですか？

あえていえば国語が好きですが、得意・不得意は作らないようにしています。「苦手だ」と思ってしまうと、その教科に取り組むとき「やだなあ」と思ってしまうので、そうならないためにも、どの教科にも苦手意識をもたないようにしています。

——これから相模原中等や公立中高一貫校をめざす受験生にメッセージをお願いします。

入学してからの中学校生活の楽しさをイメージすることが大切だと思います。そうしたことを考えながら勉強をしていると、その中学校に入りたいたい想いも強くなって、それが受験勉強のモチベーションアップにもつながります。

志望校に対する想いをもち続けるには、やはり学校のことをきちんと知っておくことが大切だと思います。だからしっかりと調べ、できれば文化祭など、学校に直接足を運ぶことをお勧めします。